

1. コロナ禍における高齢者の心と体のケアについて

コロナ禍において、外出の自粛が呼びかけられた。

移動や交流機会が減少し、高齢者の心身に大きな影響があったと推察される。

外出自粛による運動不足や筋力の低下、人と付き合う機会の減少による精神的安定、ストレス解消の機会減少、孤立や孤独の問題など、その影響は計り知れない。

このような状況だからこそ、町として高齢者のケアに、より一層取り組む必要があると考える。

については、以下の点について所見を伺う。

①心身の健康維持や体力の維持などに対する取り組みは。

②老人会などの集会を開くことができない中で、コミュニティの断絶に対する取り組みは。

③帰省の自粛などに伴う孤立感の高まりを和らげる取り組みは。